



「ジョリビー」の登場に大喜びの子どもたち（フィリピン）

## Contents

### ■活動報告

- フィリピン (MHCP) …P.2
- スタディーツアーのお知らせ …P.3
- フィリピン (MHDC) …P.4
- スクールライフ応援プロジェクト …P.5
- ボランティア派遣 …P.6
- シリーズ 被災地支援現場の声 …P.7

### ■日本事務局から

- 新しいポスターと案内書ほか…P.8

## 巻頭言

## 社会変革を進める社会貢献活動

企業の社会貢献が言われて随分久しくなります。今回の被災地支援においても、企業の活躍には目覚ましいものがありました。

これまでの社会貢献の歴史を振り返ると、企業の社会貢献に対する意義づけは、様々であったと思います。社会貢献活動が意識化された1950年代は、寄付が主流で営業を伸ばすためによりよい企業イメージを作り出すという考え方がありました。その後、CI (Corporate Identification: 企業の存在証明) 活動とともに、社員や社風に活力を求める意義づけもなされました。いずれにしても、企業の働きを補完する意義づけが主流であったように思います。そんなわけで、本業による貢献が何よりも社会貢献活動であると言われた時代もありました。営利団体としての企業は、たくさん儲けてその分納税をして、社会福祉などに還元されるようにする、というわけです。しかし、今回の被災地支援のあり方を見ても国家だけで物事がうまくまわっていく

わけではないことは明らかです。

ともあれ、社会貢献活動の理念をしっかりと活動を進めるのでは、結局はその時々になにかをやっているというだけの活動で終わってしまうことでしょうか。思うに、社会貢献活動というのは、単なる慈善活動ではなくて、それによって関わる人々の価値観を変え、地域社会を変革していく、つまりは新しい地域文化を創造する活動でしょう。

被災地支援をしながら思うことは、すでに震災前にあった課題がより鮮明に、また重くなったということです。つまり私たちは、復興活動を進めながら、同時に社会変革を起こしていく状況に置かれているのです。望ましい社会を創造するために、企業が持てるリソースを提供する、あるいはNPOパートナーとの協働を進めていく社会貢献活動がいよいよ期待される場所ではないでしょうか。(HFI代表福井誠)



### ジョイ\*ジョイ・ブック・プロジェクト

不要になった本や音楽CDなどが寄付になるしくみです。FAXとWEBでお申し込みいただけます。詳しくは、同封の案内をご覧ください。

